SONY

3-224-425-**01**(1)

ポータブルミニディスクプレーヤー

取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MZ-E600

WALKMANは、ソニー株式会社の登録商標です。

主な特長

- **キュートでスタイリッシュなデザイン**
- MDLP**モードに対応**
  2倍または4倍モードでステレオ録音された曲を再生できます。
- **お好みの音質を設定できる「デジタルサウンドプリセット」機能**
- **曲をお好みの順番に並べ替えられる「プログラム再生」機能**
- **曲を再生中、携帯電話の着信をお知らせする「携帯着信アラーム」機能**
- **ディスクの出し入れが快適な「ワンタッチイジェクト」機能**
  OPENボタンを押すだけでふたが開き、ディスクがでてきます。
- **簡単操作性を実現した液晶リモコン**
  ディスク名や曲名を見たり、動作状況や電池残量を確認できます。また、**「スティック・コントローラー」**リモコンにより、本体をポケットに入れたまま手元で簡単に操作できます。
- **おしゃれなシースルー＆ロングコードヘッドホン**

付属品を確かめる

● リモコン付きヘッドホン

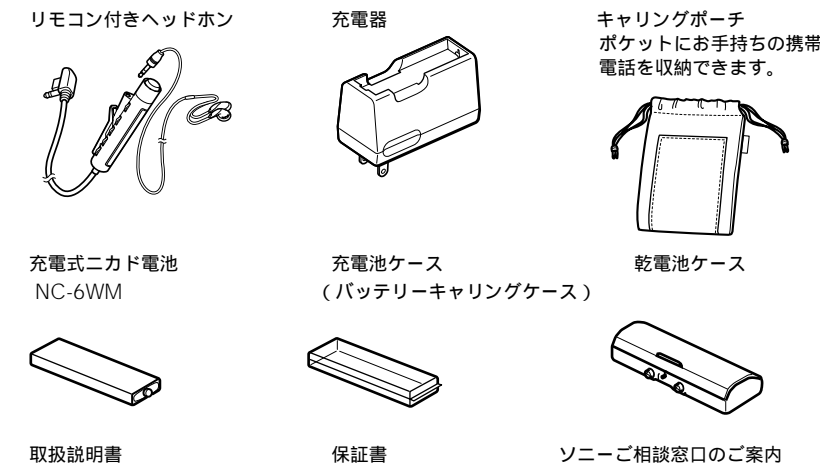
● 充電器

● キャリングポーチ
ポケットにお手持ちの携帯電話を収納できます。

● 充電式ニカド電池 NC-6WM

● 充電池ケース（バッテリーキャリングケース）

● 乾電池ケース

● 取扱説明書　● 保証書　● ソニーご相談窓口のご案内

安全のために

⚠危険

- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電池ケースに入れてください。ケースに入れずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の＋と－がショートし、発熱することがあります。
- 乾電池や乾電池ケースはコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の＋と－、または乾電池ケースの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

ご案内

ソニーではMZ-E600のお客様技術相談窓口として**「テクニカルインフォメーションセンター」**を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：　048-794-5194
受付時間：　月～金曜日　午前9時～午後5時（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
● **型名：**MZ-E600
● **ご相談内容：できるだけ詳しく**
● **お買い上げ年月日**

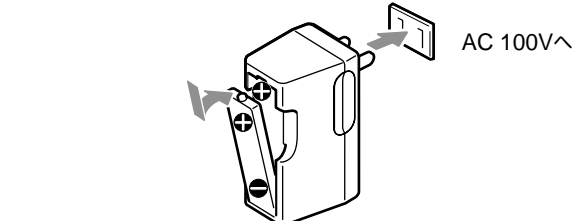
ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax …………………………… 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

この説明書は再生紙を使用しています。

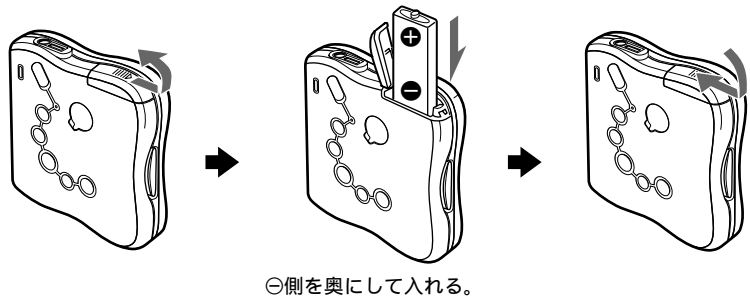
準備する A

お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。

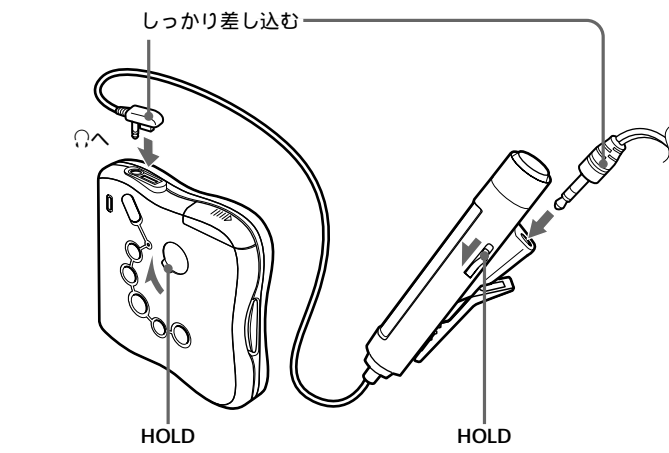
1 充電式電池を充電する

約3時間で充電完了です。

充電式電池は約300回充電できます。

2 充電式電池を入れる

⊖側を奥にして入れる。

アルカリ乾電池で使うときは
別売りのソニーアルカリ乾電池（単3形）を1本入れます。
充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。

乾電池ケースを本体に取り付ける。　**図のように必ず⊖側から入れる。**

3 リモコンをつなぎホールドを解除する

回転つまみの使いかた

リモコンの回転つまみは次のように使います。

再生／頭出し／早送り／早戻し

►►►I　I◄◄

回す／回してそのままにする

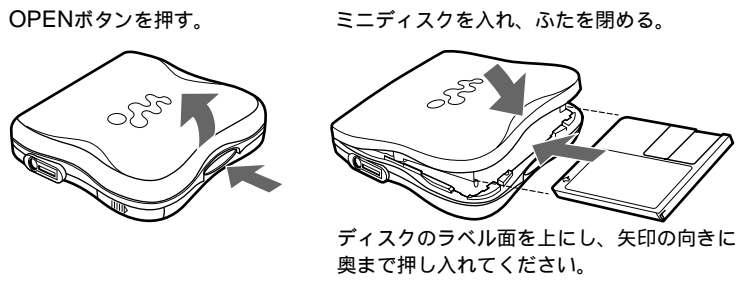
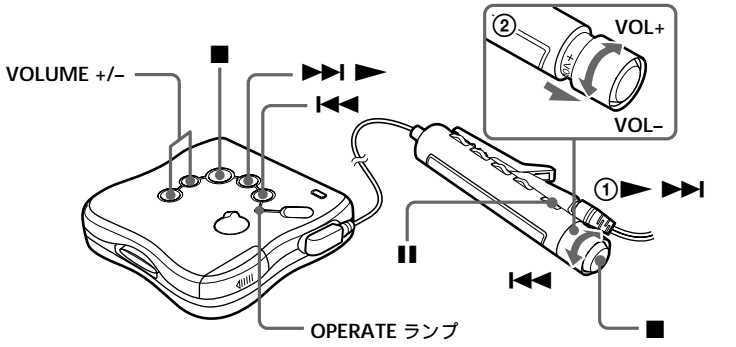
音量調節（VOL +/–）

ミニディスクを聞く B

1 ミニディスクを入れる

OPEN**ボタンを押す。**

ミニディスクを入れ、ふたを閉める。

ディスクのラベル面を上にし、矢印の向きに奥まで押し入れてください。

2 再生する

① **回転つまみをI◄◄または►►►I側へ回す（本体では►►I ►を押す）。**
リモコンで操作すると「ピ」と確認音がします。

② **回転つまみを引いて**VOL＋**または－側へ回して（本体では**VOLUME＋/－**を押して）、音量を調節する。**
リモコンの表示窓で音量を確認できます。

こんなときは	操作（リモコンの確認音）
停止する	■を押す（ピー）
一時停止する	IIを押す（ピ・ピ・ピ・・・） もう一度押すと解除されます[1)
今聞いている曲を頭出しする	回転つまみをI◄◄側へ回す（ピピピ） 本体ではI◄◄を押す
前の曲を聞く	回転つまみをI◄◄側へ繰り返し回す（ピピピ・ピピピ・・・） 本体ではI◄◄を繰り返し押す
次の曲を聞く	回転つまみを►►►I側へ回す（ピピ） 本体では►►I ►を押す
再生しながら早戻しする[1)	回転つまみをI◄◄側へ回したままにする 本体ではI◄◄を押したままにする
再生しながら早送りする[1)	回転つまみを►►►I側へ回したままにする 本体では►►I ►を押したままにする
ディスクを取り出す	■を押してから、本体のOPENボタンを押す[2)

1) 一時停止中に本体のI◄◄または►►I ►を押すと、再生に戻ります。
一時停止中に回転つまみをI◄◄または►►►I側へ回したままにする（本体ではI◄◄または►►I ►を押したままにする）と、再生音を聞かずに高速で早戻しや早送りができます。
2) ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。

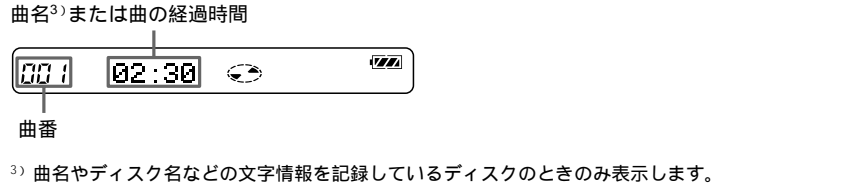
ご注意
ディスクを取り出すときは、■を押してからOPENボタンを押してふたを開けてください。

音飛びガード時間について
音飛びガード時間は次のようになります。

モード	表示	音飛びガード
ステレオ再生	表示なし	約40秒
LP2ステレオ再生	LP2	約80秒
LP4ステレオ再生	LP4	約160秒
モノラル再生	MONO	約80秒

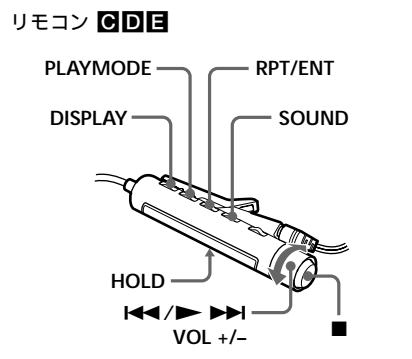
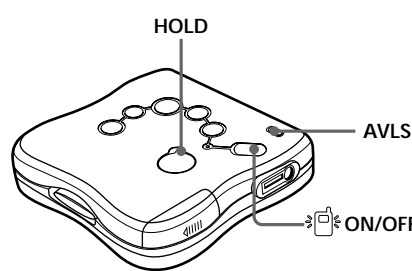
表示窓の見かた

くわしくは、「曲名や曲の時間を見る」をご覧ください。

曲名[3) **または曲の経過時間**

3) 曲名やディスク名などの文字情報を記録しているディスクのときのみ表示します。

💡
- 本機は録音時間を2倍または4倍にしてステレオ録音された曲（LP2またはLP4）を再生することができます。録音された方法により、ステレオ再生／LP2ステレオ再生／LP4ステレオ再生／モノラル再生は自動的に切り換わります。
- 動作中は本体のOPERATEランプが点灯します。■を押して再生を止めるとOPERATEランプは消えます。
- リモコンの表示は、■を押してから数秒後に消えます。

►いろいろな聞きかた

リモコン C D E

プレーヤー本体（裏面）F G H

曲順を変える C

リモコンのPLAYMODEボタン、RPT/ENTボタンを使って、いろいろな聞き方でお楽しみ頂くことができます。

再生状態（再生モード）を選ぶ

1 PLAYMODE**ボタンをくり返し押す。**
再生状態は4種類から選べます。

再生状態表示
003 13:52 SHUF

表示	再生状態
（表示なし）	ディスク全曲を1回再生します（通常の再生）。
1	今、再生している曲のみを再生します（1曲再生）。
SHUF	全曲を順不同に並びかえて再生します（シャッフル再生）。
PGM	好きな順に曲を並べ替えて再生します（プログラム再生）。

好きな順に曲を並べ変えて聞く（プログラム再生）

1 「PGM」が表示されるまで、PLAYMODE**ボタンをくり返し押す。**

000 <PGM01 PGM

2 回転つまみをI◄◄または►►►I側へ回して曲を選ぶ。

002 <PGM01 PGM
曲番　プログラムの順番

3 RPT/ENT**ボタンを押す。**
曲が決定します。

000 <PGM02 PGM

4 手順2、3をくり返して好きな順に曲を選ぶ。

5 選び終わったら、RPT/ENT**ボタンを2秒以上押す。**
設定が確定し、1曲目から再生が始まります。

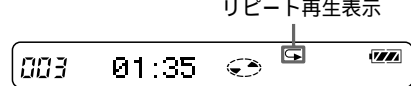
💡
- 再生が終わったとき、または途中で止めたときも、プログラムは残っています。
- 全部で20曲までプログラムできます。

ご注意
- ディスクを出し入れすると設定は解除されます。
- 停止状態での設定の途中、5分間何も操作しないと、それまでの設定でプログラムが確定します。

くり返し聞く（リピート再生）

通常の再生や1曲再生、シャッフル再生、プログラム再生をくり返し聞くことができます。

1 再生中にRPT/ENT**ボタンを押す。**
⊊ が点灯します。

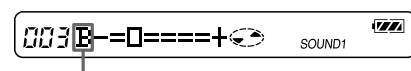
リピート再生表示
003 01:35

音質を設定する D（デジタルサウンドプリセット）

再生中に、お好みの音質を2種類設定することができます。

1 リモコンのSOUND**ボタンをくり返し押し、「**SOUND1**」または「**SOUND2**」を選ぶ。**

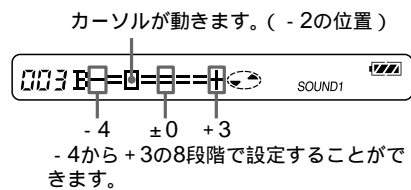
003 03:40 SOUND1

2 再生中、リモコンのSOUND**ボタンを2秒以上押す。**
BASS（低音）の設定画面になります。さらにもう一度SOUNDボタンを2秒以上押すと、TREBLE（高音）の設定画面になります。

003 B–=□====+ SOUND1

BASS**のときは「**B**」、**TREBLE**のときは「**T**」と表示されます。**

3 リモコンの回転つまみをI◄◄または►►►I側へくり返し回し、BASS**または**TREBLE**の強弱を設定する。**

カーソルが動きます。（－2の位置）

003 B–=□====+ SOUND1
－4　±0　＋3

－4から＋3の8段階で設定することができます。

BASS設定画面またはTREBLE設定画面でSOUNDボタンを2秒以上押すと、BASSとTREBLEの各設定画面が切り換わります。
設定中に、SOUNDボタンを短く押すと、そのときのBASSまたはTREBLEの設定が確定し、もう一方の設定画面に切り換わります。

4 リモコンのRPT/ENT**ボタンを押す。**
設定が登録され、再生表示に戻ります。

設定した音質を選ぶには
リモコンのSOUNDボタンをくり返し押して、「SOUND1」、「SOUND2」または、表示なしを選びます。表示なしを選ぶと、デジタルサウンドプリセットは解除されます。

お買い上げ時の設定は
- 「SOUND1」のとき
  BASS：＋1、TREBLE：±0
- 「SOUND2」のとき
  BASS：＋3、TREBLE：±0

💡
再生中、一時停止（II）中でも設定することができます。

ご注意
- 本体の操作ボタンでは、設定できません。
- デジタルサウンドプリセットを使っているとき、設定によっては音量を上げすぎると音が割れたり、ひずんだりすることがあります。

曲名や曲の時間を見る E

曲名やディスク名、曲番、曲の経過時間、録音されている曲数を確認できます。

1 リモコンのDISPLAY**ボタンを押す。**
押すたびに表示は以下のように変わります。

A	B
曲番	経過時間
曲番	曲名[1)
総曲数	ディスク名[1)
曲番	トラックモード[2)

1) 文字情報が記録されているときのみ表示されます。
2) 各トラックモード表示の意味
「Mode:SP」　ステレオ録音された曲
「Mode:LP2」　2倍モードでステレオ録音された曲
「Mode:LP4」　4倍モードでステレオ録音された曲
「Mode:MONO」　モノラル録音された曲

ご注意
トラックモードは、再生中のみ表示されます。表示されてから2秒後に、自動的に経過時間表示に戻ります。

►その他の機能

携帯着信アラームを鳴らす F（携帯着信アラーム機能）

再生中に携帯電話がかかってきた時、携帯電話の着信をお知らせすることができます。携帯着信アラーム機能を使用するときは、必ず本体を付属のキャリングポーチ内に、お手持ちの携帯電話をキャリングポーチのポケットの中に、入れてください。

1 📳スイッチをON**にずらす。**
電話を着信すると、アラームが聞こえ、リモコンの表示窓に電話がかかってきたことをお知らせする「デンワ」表示が点滅します。

アラームを止めるには
リモコンまたは本体の■ボタンを押します。このとき再生は停止します。
再生を停止しないでアラームを止めるには、📳スイッチをOFFにするか、■ボタン以外のボタンを押してください。ボタンを押すとアラームは止まりますが、そのボタン本来の機能はしません。

ご注意
- 携帯着信アラーム機能は、PHS方式、CDMA方式の携帯電話に対応していません。
- 携帯電話の種類によっては携帯着信アラーム機能が働かないことがあります。
- 本体と携帯電話の間に金属物、鏡など電波を反射するものが入ると、携帯着信アラーム機能が働かないことがあります。
- 人ごみの中などお客様の近くで携帯電話を使用している人がいる場合、他の人の携帯電話の発信または着信をお知らせすることがあります。また、お手持ちの携帯電話の発信時およびメールの送受信時、インターネット接続時にも動作することがあります。
- 以下のような場所では、📳スイッチをOFFにしてご使用ください。
  — テレビ放送塔、ラジオ放送塔などの電波の強い場所の周辺
  — コンピューター、ワープロの周辺など、電気ノイズの大きい所
  — 車内、電車内

音もれを抑え耳にやさしい音にする G（AVLS）

1 本体のAVLS**ボタンを押し、リモコンの表示窓に「**AVLS ON**」を表示させる。**
音量を調節しても、一定のレベル以上大きくなりません。

AVLSを解除するには
AVLSボタンを押し、リモコンの表示窓に「AVLS OFF」を表示させます。

誤操作を防ぐ H（ホールド機能）

1 HOLD**スイッチを➔の方向にずらす。**
リモコンのHOLDスイッチをずらすと、リモコンの操作ボタンが、本体のHOLDスイッチをずらすと、本体の操作ボタンが働かなくなります。

HOLDを解除するには
HOLDスイッチを矢印と逆の方向にずらします。

►電源について

充電式電池・乾電池の取り換え時期は I

ご使用中、リモコンの表示窓の電池残量表示でお知らせします。

リモコンの表示窓
残量が少なくなってます。
↓
電池が消耗しています。
↓
残量がありません。リモコンの「LOW BATT」表示が点滅し、電源が切れます。

電池の持続時間（EIAJ[1)）

使用電池	ステレオ（通常）	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
充電式ニカド電池 NC-6WM（100%充電時）	約14時間	約16時間	約18時間
アルカリ乾電池 LR6(SG)[2)	約42時間	約49時間	約58時間
充電式ニカド電池とアルカリ乾電池[2)の併用	約59時間	約65時間	約75時間

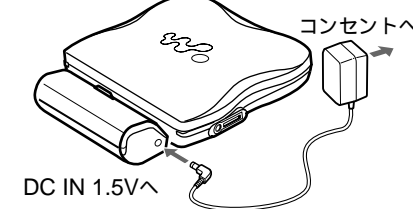
1) EIAJ（日本電子機械工業会）規格による測定値です（ソニーMDWシリーズのミニディスクを使用）。
2) 日本製ソニースタミナアルカリ乾電池LR6（SG）で測定しています。

ご注意
電池の持続時間は、周囲の温度や使用状態、電池の種類により、短くなる場合があります。

コンセントにつないで使う J

1 乾電池ケースを本体に取り付ける。
充電式電池が入っていたら、取り出します。

2 別売りのAC**パワーアダプター** AC-E15L**（日本国内用）または**AC-E15HG**（海外用）を乾電池ケース側面の**DC IN 1.5V**ジャックにつなぐ。**

3 AC**パワーアダプターをコンセントにつなぐ。**

💡
- ACパワーアダプターをつないで使うときも、電池残量表示マークが表示されます。

ご注意
- コンセントにつないで使うときは、必ず充電式電池を本体から抜いてください。入れたままで使用すると充電式電池の性能が低下することがあります。
- この製品には、別売りのAC-E15L、AC-E15HG（極性統一形プラグ・EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

- AC-E15HGは、地域により異なる仕様になっています。使用する地域の電源電圧やプラグの形状をお確かめのうえ、お買い求めください。

►その他

使用上のご注意

分解しないでください
ミニディスクプレーヤーに使われているレーザー光が目にあたると危険です。

レンズに触れないでください
レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを開けないでください。

充電について
- 充電には必ず付属の充電器をお使いください。
- 付属の充電器では、指定の電池以外は充電しないでください。
- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池では持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。
- 長時間使用しないときは、充電式電池を本体から取り出しておいてください。
- 充電が終わったら、早めに充電器をコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- 充電中は充電器や充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。

日本国内での充電式電池の廃棄について
Ni-Cd

ニカド電池は、リサイクルできます。不要になったニカド電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
社団法人電池工業会
TEL：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp

海外での充電式電池の廃棄について
各国の法規制にしたがって廃棄してください。

乾電池ケースについて
付属の乾電池ケースは本機専用です。付属の乾電池ケース以外は絶対に使用しないでください。

本体の乾電池ケース取り付け部について
本体に充電式電池が入ったままの状態で、取り付け部の端子が金属などとつながると、ショートし、発熱することがあるので危険です。
バッグなどに入れて持ち運ぶときは、付属のキャリングポーチに入れてください。

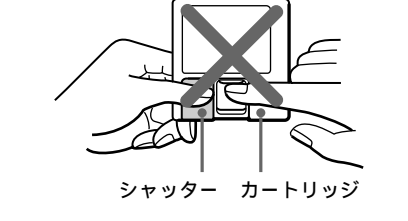
取り扱いについて
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強くひっぱらないでください。
- 次のような場所に置かないでください。
  - — 温度が非常に高いところ(60℃以上)
  - — 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
  - — 窓を閉めきった自動車内(とくに夏季)
  - — 風呂場など、湿気の多いところ
  - — 磁石、スピーカー、テレビなどの磁気を帯びたものの近く
  - — ほこりの多いところ
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターにご相談ください。

温度上昇について
長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

動作音について
本機は省電力の動作方式になっています。
そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

ヘッドホンについて
付属のヘッドホンは音もれ防止タイプですが、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎないように、周囲の人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を、目安にしてください。

リモコンについて
付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンでは本機の操作はできません。

ミニディスクの取り扱いについて
- ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
  - — **ミニディスクに直接触れない**
    シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

  - — 持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる
  - — **置き場所に注意**
    直射日光が当たるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性のあるところには放置しないでください。
  - — **定期的にお手入れを**
    カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふき取ってください。
- ディスクに付属のラベルは所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみの中におさめて貼ってください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

表面が汚れたときは
表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきをします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンプラグのお手入れについて
常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音や音切れの原因になることがあります。

故障かな?と思ったら
サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。
ご不明な点があるときは、テクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

操作を受けつけない
- ディスクが入っていない(リモコンに「NO DISC」表示が出る)。
  ➜ ディスクを入れてください。
- ホールド機能が働いている(操作ボタンを押すとリモコンに「HOLD」表示が出る)。
  ➜ HOLDスイッチを矢印と逆方向にして、ホールド機能を解除してください。
- 結露(内部に水滴が付着)している。
  ➜ ディスクを取り出して、数時間待ってください。
- 充電式電池または乾電池が消耗している(リモコンに「LOW BATT」表示が点滅する)。
  ➜ 充電式電池を充電するか、乾電池を新しいものと交換してください。
- 電池が正しく入れられていない。
  ➜ 電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れ直してください。
- 何も録音されていないディスクが入っている(リモコンに「BLANKDISC」表示が出る)。
  ➜ 録音されたディスクを入れてください。
- ディスクが損傷している(リモコンに「DISC ERR」表示が出る)。
  ➜ ディスクを入れ直す。それでも表示が出るときは、他のディスクと取り換えてください。
- 使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けた。
  ➜ 次の手順で操作し直してください。
  1. すべての電源をはずす。
  2. 約30秒間そのままにする。
  3. 電源をつなぐ。

通常の再生ができない
- リピート再生を指定した。
  ➜ リモコンのRPT/ENTボタンを押して、⊂ (リピート)表示を消してから再生を始めてください。

ディスクの1曲目から再生できない
- 前回再生したときディスクの途中で止めた。
  ➜ リモコンの回転つまみをI◀◀側へ何度も返し回す(本体ではI◀◀ボタンをくり返し押す)か、1度ふたを開けると、1曲目から再生できます。

デジタルサウンドプリセットの設定ができない。
- デジタルサウンドプリセットが解除されている。
  ➜ リモコンのSOUNDボタンをくり返し押し、「SOUND1」または「SOUND2」を選んでください。

再生中に音がとぎれる
- 振動の多い場所に置いている。
  ➜ 振動の少ない場所で使ってください。
- ナレーションやイントロなど1曲の録音時間が極端に短いと、音がとぎれることがあります。

雑音が多い
- テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。
  ➜ テレビなどから離して置いてください。

瞬間的なノイズが聞こえる
- LP4(4倍モード)でステレオ録音された音を再生している。
  ➜ LP4ステレオ録音した音を再生した場合、圧縮方式の特性により、ごくまれに瞬間的なノイズが聞こえることがあります。

充電できない
- 充電池が充電器の中にしっかり入っていない。
  ➜ しっかりと入れてください。

ヘッドホンから音が出ない
- ヘッドホンがしっかりと差し込まれていない。
  ➜ Ωジャックにしっかりと差し込んでください。
  ➜ ヘッドホンをリモコンにしっかりと差し込んでください。
- 音量が小さすぎる。
  ➜ リモコンの回転つまみを引いてVOL+/–側へ回して(本体ではVOLUME+/–ボタンを押して)、音量を調節してください。
  ➜ 本体のAVLSボタンを押して、リモコンの表示窓に「AVLS OFF」を表示させてください。

携帯着信アラーム機能が働かない
「その他の機能」の「携帯着信アラームを鳴らす」もあわせてご覧ください。
- (携帯着信アラーム)スイッチがOFFになっている。
  ➜ (携帯着信アラーム)スイッチをONにしてください。
- PHS方式、CDMA方式の携帯電話には対応していません。
- 本体と携帯電話の間に金属物、鏡など電波を反射する物が入っている。
  ➜ 本体を付属のキャリングポーチ内に、お手持ちの携帯電話をキャリングポーチのポケットに入れて下さい。

主な仕様

形式
ミニディスクデジタルオーディオシステム

再生読み取り方式
非接触光学式読み取り（半導体レーザー使用）

レーザー
GaAlAs MQWダイオード、
λ＝790 nm

回転数
約300 rpm～2,700 rpm

エラー訂正方式
アドバンスドクロスインターリーブリードソロモンコード(ACIRC)

サンプリング周波数
44.1 kHz

コーディング
ATRAC(アダプティブトランスフォームアコース ティックコーディング)
ATRAC3 — LP2
ATRAC3 — LP4

変調方式
EFM

チャンネル数
ステレオ2チャンネル
モノラル1チャンネル

周波数特性
20 ～ 20,000 Hz ±3 dB

ワウ・フラッター
実用測定限界値以下

出力端子
ヘッドホン:ステレオミニジャック
実用最大出力 5 mW＋5 mW（EIAJ*、16Ω）

電源
100V、50/60Hz
充電式電池(付属：NC-6WM、1.2 V、600 mAh、Ni-Cd)1個
アルカリ乾電池(単3形)1本
外部電源ジャック　定格DC 1.5 V

電池持続時間
「充電式電池・乾電池の取り換え時期は」をご覧ください。

本体寸法
約 85.5 ×19.3 ×77.5 mm
（幅／高さ／奥行き、最大突起含まず）

最大外形寸法(EIAJ*)
約 86.5 ×19.5 ×77.5 mm
（幅／高さ／奥行き、突起部含む）

質量
約 72g（本体のみ）
約 97g（本体＋充電式電池NC-6WM）
(EIAJ*)

* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

別売りアクセサリー
ACパワーアダプター　AC-E15L
ステレオヘッドホン*　MDR-D55、MDR-D77、MDR-E888SPなど
アクティブスピーカー　SRS-Z500、SRS-Z750、SRS-Z1000など
ミニディスクソフトキャリングポーチ MD-4SCPL/N
MDラベルプリンター　MZP-1

* ヘッドホンは、本体のΩジャックにつなぐときも、リモコンにつなぐときも、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。

ステレオミニプラグ

マイクロプラグ

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
- **調子が悪いときはまずチェックを**
  この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも具合の悪いときはサービスへ**
  お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- **保証期間中の修理は**
  保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理は**
  修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- **部品の保有期間について**
  当社ではポータブルミニディスクプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

各部のなまえ

プレーヤー本体

1. VOLUME（音量）+/– ボタン
2. ■ボタン
3. ▶▶I ▶ボタン
4. 乾電池ケース用端子
5. AVLSボタン(音量リミット)
6. Ω(ヘッドホン)ジャック
7. (携帯着信アラーム)スイッチ
8. I◀◀ボタン
9. OPERATEランプ
10. 充電式電池入れ
11. HOLD（誤操作防止）スイッチ
12. OPENボタン

リモコン付きヘッドホン

1. ヘッドホン
2. ステレオミニプラグ
3. ❚❚（一時停止）ボタン
4. SOUNDボタン
5. RPT/ENTボタン
6. PLAYMODE ボタン
7. DISPLAY ボタン
8. ■(停止)ボタン
9. 回転つまみ I◀◀/▶▶▶I
   停止中に▶▶▶I側へ回すと再生、再生中に▶▶▶I側へ回すと頭出し、回したままにすると早送り、再生中にI◀◀側へ回すと頭出し、回したままにすると早戻しとなります。
10. 回転つまみ VOL（音量）+/–
    回転つまみを引いて回すと音量が調節できます。
11. HOLD スイッチ
    リモコンのボタンが働かなくなり、誤操作を防ぎます。
12. 表示窓

English

As you read, refer to the illustrations in the Japanese text.

►Preparing

Getting started A
Charge the supplied rechargeable battery, before using it for the first time. Other choices are a dry battery and house current (see "Power Sources").

1. Charge the supplied rechargeable battery NC-6WM with the supplied battery charger.
   Charging is completed in about 3 hours. You can charge the battery 300 times.
   A fully-charged battery should power consecutive playback for 14 hours before you need to recharge it.
2. Open the rechargeable battery compartment lid and insert the charged battery with correct polarity.
   To use a dry battery, insert one LR6 (size AA) alkaline dry battery (not supplied) into the supplied dry battery case, and attach the battery case to the player.
3. Connect the supplied headphones to the remote control.
   Connect the remote control to Ω jack of the player.
   Slide HOLD on the remote control and the player to the direction of the arrow shown in the illustration.

►MD playing

Playing an MD B
1. Insert an MD.
   ① Press OPEN.
   ② Insert the MD with the label side facing up, and press the lid down to close.
2. Play the MD.
   ① Turn the control towards I◀◀ or ▶▶▶I on the remote control (or press ▶▶I ▶ on the player).
   When using the remote control, a short beep sounds in the headphones.
   ② Pull and turn VOL +/– on the remote control (or press VOLUME +/– on the player) to adjust the volume.
   The volume indicator appears on the remote control to allow you to check the volume.

Other disc operations

To	Do this (Beeps in the headphones)
Stop	Press ■ (A long beep)
Pause	Press ❚❚ on the remote control. (Continuous short beeps) Press ❚❚ on the remote control again to resume playback.*
Find the beginning of the current track	Turn the control towards I◀◀ on the remote control. (Three short beeps) Press I◀◀ on the player once.
Listen to the beginning of the previous track	Turn the control towards I◀◀ on the remote control repeatedly. (Continuous three short beeps) Press I◀◀ on the player repeatedly.
Listen to the beginning of the next track	Turn the control towards ▶▶▶I on the remote control. (Two short beeps) Press ▶▶I ▶ on the player once.
Go backwards while playing*	Turn and hold the control towards I◀◀ on the remote control. Hold down I◀◀ on the player.
Go forward while playing*	Turn and hold the control towards ▶▶▶I on the remote control. Hold down ▶▶I ▶ on the player.
Remove the MD	Press ■, and then press OPEN.**

* When you press I◀◀ or ▶▶I ▶ on the player during pause, the player resumes playback. If you turn and hold the control towards I◀◀ or ▶▶▶I on the remote control (or hold down I◀◀ or ▶▶I ▶ on the player) during pause, you can fast forward/rewind without listening to the playback sound.
** Once you open the lid, the point to start playback changes to the beginning of the first track.

Note
When removing the disc, make sure to press ■ first, and then press OPEN.

About the anti-skip function
The anti-skip function provides resistance to vibrations for varying lengths of time, depending on the playback mode of the track.

Mode	Display	Vibration resistance time
Stereo	(none)	Approx. 40 sec.
LP2* stereo	LP2	Approx. 80 sec.
LP4* stereo	LP4	Approx. 160 sec.
Monaural	MONO	Approx. 80 sec.

* The player can play the track recorded by double or 4 times long mode (LP2 or LP4). Normal stereo playback, LP2 stereo playback, LP4 stereo playback or monaural playback is automatically selected to match the audio source.

►Various ways of playback

Changing the play mode C
You can select various play modes using the PLAYMODE and RPT/ENT buttons on the remote control.

Selecting the play mode
1. Press PLAYMODE.
   Each time you press this button, the play mode changes as follows:

Display	Play mode
(none) (normal play)	All the tracks are played once.
1 (single play)	A single track is played once.
SHUF (shuffle play)	All the tracks are played in random order.
PGM (program play)	Tracks are played in the order that you specified.

Listening to tracks in a desired sequence (Program play)
1. Press PLAYMODE repeatedly until "*PGM*" appears in the display.
2. Turn the control towards I◀◀ or ▶▶▶I to select a track.
3. Press RPT/ENT to enter a track number.
4. Repeat step 2 and 3 to program more tracks.
5. Press RPT/ENT for 2 seconds or more.
   The settings are entered and playback starts from the first programmed track.

Notes
- All program settings are lost when the disc is removed from the player.
- If no settings are made for 5 minutes while the player is stopped, the settings made up to that point are entered.

Repeat play
1. Press RPT/ENT during playback.
   "⊂" appears in the display.

To adjust the sound quality (Digital Sound Preset) D
You can make adjustments to the sound quality to suit your taste, and then store two sets of these adjustments.

1. Press SOUND on the remote control repeatedly to select "SOUND1" or "SOUND2".
2. During playback, press SOUND for 2 seconds or more.
   The player changes to the bass-setting mode. Pressing the SOUND for 2 seconds again changes the player back to the treble-setting mode.
3. Turn the control on the remote control towards I◀◀ or ▶▶▶I repeatedly to adjust the bass or the treble.
   When you press SOUND for more than 2 seconds while adjusting the bass, the display switches to the treble (or vice-versa).
   When you press SOUND for a short time while adjusting the bass or the treble, the setting for that sound is entered and the display switches to the other sound setting.
   The sound can be adjusted in 8 steps from –4 to +3.
4. Press RPT/ENT.
   The sound settings are stored and the playback display appears again.

To select a preset sound
Press SOUND on the remote control repeatedly to select "SOUND1," "SOUND2," or off (no display). Selecting no display turns off the Digital Sound Preset function.

Digital Sound Preset factory settings
The Digital Sound Preset factory settings are as follows:
- "SOUND1": bass +1, treble ±0
- "SOUND2": bass +3, treble ±0

Notes
- Settings cannot be changed through the operation buttons on the player.
- When you use the Digital Sound Preset, the sound may break or become distorted when the volume is turned up too high, depending on the settings.

To know the track name and playing time E
During playback, press DISPLAY on the remote control.
Each time you press DISPLAY, the elapsed time of the current track and the track number, the track name and number, the disc name and the number of tracks recorded on the MD, the mode that the track was recorded in and number appear.

The mode that each track was recorded in is indicated as follows:

"Mode : SP"	Standard mode (stereo)
"Mode : LP2"	2 × mode (2 × normal playing time)
"Mode : LP4"	4 × mode (4 × normal playing time)
"Mode : MONO"	Monaural

Note
The mode indication appears only during playback. It appears for 2 seconds, and is then replaced by the elapsed time of the current track.

►Other operations

Setting the cellular phone alarm (Incoming call alert function) F
This function conveniently alerts you when you get a call on your cellular phone during playback.
When using the incoming call alert function, make sure to put the player in the supplied carrying pouch and put your cellular phone in the pocket of the carrying pouch.

1. Set the alarm switch on the player to ON.
   When you get an incoming call, the alarm sounds and "デンワ" flashes on the remote control.

To stop the alarm
Press ■ on the remote control or on the player. Playback is stopped at this time.
To stop the alarm without stopping playback, set the alarm switch to OFF or press any button except ■.
Note that pressing the button will not activate its original function.

Notes
- The incoming call alert function is not supported on PHS and CDMA cellular phones.
- The incoming call alert function may not work with certain types of the cellular phones.
- The incoming call alert function may not work when metallic objects, mirrors or other items that deflect radio waves are placed between the player and the cellular phone.
- The alarm may be activated by call on other cellular phones near you (for example, in a crowd). Also, the alarm may be activated by an outgoing call, mail or internet activity on your cellular phone.
- Turn the alarm switch to OFF when it is in the following places:
  - — Near a source of strong radio waves, such as a TV or radio transmitter
  - — Near a computer or other source of electromagnetic noise
  - — Inside a car or train

To protect your hearing (AVLS) G
Press AVLS (Automatic Volume Limiter System) on the player to display "AVLS ON" on the remote control.
The volume is kept at a moderate level, even if you try to turn the volume above the limited level.

To cancel the AVLS function
Press AVLS on the player to display "AVLS OFF" on the remote control.

To lock the controls (HOLD) H
Slide HOLD on the remote control in the direction of the ➔ to lock the controls of the remote control and slide HOLD on the player in the direction of the ➔ to lock the controls of the player.

To unlock the controls
Slide to the opposite direction of the arrow.

►Power Sources

Using on a battery I
Insert one LR6 (size AA) alkaline dry battery (not supplied) into the supplied dry battery case with correct polarity, and then attach the supplied battery case to the player.
The dry battery[3] should power consecutive playback for about 42 hours[1] before you need to replace it. If you use both a dry battery[3] and a rechargeable battery[2] (consecutively), the total playback time should be about 59 hours[1].

[1] Measured in accordance with EIAJ (Electronic Industries Association of Japan) standard (using a Sony MDW-series Mini-disc).
[2] With a fully charged battery
[3] When using Sony "STAMINA" alkaline dry battery produced in Japan.

When to recharge or replace the battery
When the battery indication changes to ▭, the rechargeable battery or the dry battery is weak. Recharge the rechargeable battery or replace the dry battery. When the battery is exhausted, "LOW BATT" flashes in the display on the remote control and the power goes off.

Note
The battery life may be shorter depending on operating conditions, the surrounding temperature, and the battery storage.

Using on house current J
1. Before using the player, remove the rechargeable battery if it is installed.
2. Attach the supplied battery case to the player and connect the optional AC-E15L AC power adaptor (for use in Japan) or the optioanl AC-E15 HG AC power adaptor (for use outside of Japan) to the DC IN 1.5V jack of the battery case.
3. Connect the AC power adaptor to a wall outlet.
   Do not use any other AC power adaptor.

Notes
- When using the AC power adaptor to power the player, make sure to remove the rechargeable battery from the player. Leaving the rechargeable battery in the player at this time may cause the battery performance to decline.
- Use only the optioanl AC-E15L/E15HG AC power adaptor to power the player in your home. Use of any other AC power adaptor may cause the player to malfunction.
- The AC-E15HG is shipped with different specifications to suit the region it is used in. Before purchasing the power adaptor, verify that its voltage rating and the plug type are suited to your region.

http://www.world.sony.com/